

ローターアクトの拡大に向けて



ローターアクト委員会 委員長 辻本 一義

(東大阪RC)

当地区のローターアクトの活動は、活発な取り組みが一部に見られ、将来の社会を背負って立つ青年男女の育成を目指して成果をあげている部分があるものの、全体的には充分ではなく、今後、活動の拡大に向けて努力を要する状態にあります。

たとえば、地区内の86クラブの内、ローターアクトを提唱し運営しているのは21クラブしかなく、地区内4分の3にも達する未提唱クラブの方々から伝わって来る意識は、無知、他人事、無関心といった寂しい内容が強く感じられます。

ところがローターアクトは、RIによって定められた組織であって当地区全体で取り組むべき課題です。提唱21クラブにあっては、労力と費用を多く費やしながら運営しておりますが、未提唱クラブにおかれては、ローターアクトを認識し、是非クラブ活動の大切な部分に位置づけて取り組んでいただくべきと強く感じております。

そのために未提唱クラブでは、直ぐに提唱が困難であっても、近隣の提唱クラブと提携し、メンバーの紹介や活動の一部に参加する

などの協力方法もあると考えますし、この点について地区委員会としても考慮し前向きに取り組むたいと考えています。

ローターアクトでは、各クラブにあっては地区にあっては、頻りに会議をし、町の美化運動や弱者への援助その他の奉仕活動を検討し且つ実行しています。

例えば今年度の地区ローターアクトでは、毎年恒例の海外研修で約30名が台北を訪問しましたが、出発まで現地のローターアクトと頻りに交渉し、英会話のレッスンや現地の歴史・文化を研究し、現地のロータリアンやローターアクトと大勢の孤児院の子供達に対する慰問活動を行い、国際交流と社会奉仕に大きな成果をあげました。

地区内ローターアクトのメンバーは、日々情熱をもって真剣に活動に取り組んでいますから、RCメンバーの皆様のご協力を切に願います。